

# 物価について調べる

現在の物価や、物価の移り変わりについて調べるときに参考になる図書やサイトを紹介します。

※【 】内は、ある場所：ラベルの番号です。

## 1. 現在の物価について調べる資料、ウェブサイト

<ul style="list-style-type: none"><li>『小売物価統計調査年報』（総務省統計局，年刊）【9 書庫：337.8/コ】令和元年版まで</li><li>『小売物価統計調査＜動向編＞年報』（総務省統計局，年刊）平成26年版から 【一般1階：337.8/コ】</li></ul> <p>主要な商品やサービスの価格を毎月調査している小売物価統計調査の結果をまとめた報告書。調査対象市の月別の結果のほか、全調査市町村の年平均の結果も収録されています。 なお、毎月の調査結果は総務省統計局のホームページでみるすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>小売物価統計調査（動向編）（<a href="https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html">https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html</a>）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>『全国物価統計調査報告』（総務省統計局，5年ごとの刊行）【9 書庫：337.8/ゼ】平成19年版まで</li><li>『小売物価統計調査＜構造編＞年報』（総務省統計局，年刊）平成25年版から 【一般1階：337.8/コ】</li></ul> <p>商品やサービスの価格について、店舗の業態や経営形態等、価格決定に与える要素を幅広く調査し、価格の店舗間格差や地域間格差など、価格差の実態を明らかにすることを目的とした報告書。 2013年から「小売物価統計調査＜構造編＞」に統合され、「全国物価統計調査」は廃止されました。 なお、総務省統計局のページでも調査データや概要をみるすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成19年全国物価統計調査（<a href="http://www.stat.go.jp/data/zenbutu/2007/index.htm">http://www.stat.go.jp/data/zenbutu/2007/index.htm</a>）</li><li>小売物価統計調査（構造編）（<a href="https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html">https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html</a>）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>『消費者物価指数年報』（総務省統計局，年刊）【9 書庫：337.8/シ】</li></ul> <p>消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する家計に係る商品やサービスの価格を指数として表わし、物価の変動を時系列に測定するもの。本書は、消費者物価指数の1年間の報告書。 なお、毎月の消費者物価指数は、総務省統計局のホームページでみるすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>消費者物価指数（CPI）（<a href="https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html">https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html</a>）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>『日本経済新聞』（日本経済新聞社，日刊）【2階 新聞コーナー】</li></ul> <p>日本経済新聞には「主要相場」という欄があり、鋼材・非鉄金属・繊維・食品などの品目の商品価格指数が掲載されています。</p>

\* 「指数」：物価や賃金などの動きを知るために、基準値を100としてその変動を表した数値。

「CPI（消費者物価指数）」：consumer price index の略。

## 2. 物価の移り変わりについて調べる資料

物価の移り変わりについて調べるには、まず、「1. 現在の物価について調べる資料、ウェブサイト」で紹介した資料やウェブサイトを過去にさかのぼる方法があります。その他には以下のような資料が役に立ちます。

<p>・『日本の物価と風俗 130年のうつり変わり』（文教政策研究会，1996） 【7書庫：337.8/ニ】 明治元年から平成7年までの物価の動向と、その時代の風俗について、新聞記事をもとにまとめた資料。写真や挿絵も多数掲載されています。</p>
<p>・『値段史年表 明治・大正・昭和』（朝日新聞社，1988）【9書庫：337.8/ネ】 明治から昭和まで、218品目の値段の変遷をたどる庶民生活史のデータベースです。商品やサービスだけでなく、芥川賞・直木賞の賞金、駅弁・家賃・葬儀料など、読んでたのしい年表です。</p>
<p>・『物価の文化史事典』（展望社，2008）【一般1階：337.8/ブ】 米価から総理大臣の給与まで、近代日本100年あまりの物価の推移が一目でわかります。</p>

## 3. さらに昔の物価を調べるには

古代から江戸時代までの物価について調べるための資料とウェブサイトを紹介します。

<p>・古代・中世都市生活史（物価）データベース (<a href="https://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/ktsb/db_param">https://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/ktsb/db_param</a>) 国立歴史民俗博物館作成。8世紀から16世紀の価格関係の史料を抽出したデータベース。キーワードや品目分類から、物価を調べることができます。</p>
<p>・『江戸物価事典』（展望社，1983）【7書庫：337.8/オ】 江戸時代の物価の移り変わりについて解説した資料。</p>
<p>・『日本史総覧』（新人物往来社，1984）【一般1階：210.03/シ】 「中世米価表」（第3巻 p46～57）に1229（寛喜元）年から1591（天正19）年までの米価（石当）と出典あり。第4巻に「近世貨幣相場一覧」（p546～575）、「近世米価一覧」（第4巻 p587～612）あり。</p>
<p>・『日本歴史大事典』第4巻 索引資料（小学館，2001）【一般1階：210.03/ニ】 「近世米価・貨幣相場一覧」（p308～310）に、1694（元禄7）年以降の「米価」「金銀比較」「銭相場」の一覧表あり。</p>

参考：国立国会図書館「調べ案内 物価に関する統計」

([https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-102125.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102125.php))

国立国会図書館「調べ案内 物価・貨幣価値の変遷を調べる（前近代）」

([https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-101127.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101127.php))

◇詳しいことは、カウンターでおたずねください。

岐阜県・新聞・地図関係→第3カウンター（2階）

児童書→第1（児童）カウンター その他→第2カウンター（1階）

**岐阜県図書館**

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1

電話：058-275-5111 Fax：058-275-5115

URL：<https://www.library.pref.gifu.lg.jp/>